

令和5年度全国高等学校総合体育大会
第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会
実 施 要 項

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 茨城県 茨城県教育委員会 ひたちなか市 ひたちなか市教育委員会
共 後 援	読売新聞社 スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 NHK 公益財団法人茨城県スポーツ協会 ひたちなか市スポーツ協会
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 茨城県高等学校体育連盟 茨城県スケート連盟

1 会 期

区 分	期 日
開 始 式	令和6年1月17日(水)
競 技	令和6年1月18日(木)～21日(日) 4日間
表彰式・閉会式	令和6年1月21日(日)

2 会 場

区 分	競 技 名	会 場
開 始 式	フィギュア競技	山新スイミングアリーナ(ひたちなか市)
競 技	フィギュア競技	山新スイミングアリーナ(ひたちなか市)
表彰式・閉会式	フィギュア競技	山新スイミングアリーナ(ひたちなか市)

3 競 技 種 別

男 子	シングルスケーティング
女 子	シングルスケーティング

4 競 技 日 程

18日(木)	女子予選 Aグループ ショートプログラム
19日(金)	女子予選 Bグループ ショートプログラム 男子予選 ショートプログラム
20日(土)	女子予選 Cグループ ショートプログラム 男子決勝 フリースケーティング
21日(日)	女子決勝 フリースケーティング

5 競 技 規 定

令和5年度(公財)日本スケート連盟(以下「日本スケート連盟」という)競技規則・規程並びに本大会要項によるほか、(公財)全国高等学校体育連盟スケート専門部(以下「全国高体連スケート専門部」という)規程による。

6 競 技 方 法

(1) 競技は予選、決勝方式により行う。

ア 【予選】男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。

I S Uジュニアの課題を適用する。

イ 【決勝】男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。

I S Uジュニアの男子及び女子のバランスのとれたフリースケーティングを適用する。

(2) 選抜方法

- ア 男子クラス・女子クラス予選の得点のそれぞれ上位 24 位までの選手が決勝に進出する。
- イ 参加人数が、男子クラス・女子クラスそれぞれ多い場合は、2 つ以上のグループに分けて予選を行う。
- ウ 予選のグループ分け方法
当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会出場、全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位 12 位以内、前年度の本大会上位 12 位以内の選手を、前記大会順、入賞順に各グループに振り分け、それ以外の選手は、バジジテスト級ごとにそれぞれ抽選で各グループに振り分ける。グループ分けは、技術代表、全国高体連スケート専門部及び第 73 回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会茨城県実行委員会（以下「茨城県実行委員会」という）の責任において事前に抽選する。グループ分け後に棄権者が出た場合でも、グループの再編成は行わない。

(3) 採点方法

I S U ジャッジングシステムで行う。

(4) 滑走時間

- ア 予選 ショートプログラム 2 分 40 秒±10 秒
- イ 決勝 フリースケーティング 3 分 30 秒±10 秒

(5) 成績

ア 個人成績

予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合は、フリースケーティングの得点が高い選手を上位にする。決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は、技術点の高い選手を上位とする。

イ 総合成績

個人順位の逆転法（最下位の順位点を 1 点とし順位が一つ上がるごとに 1 点ずつ加点していく）により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し、総合成績を決定する。但し、同点の場合は個人順位の上位者のいる学校を上位とする。

7 引率・監督

- (1) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。
- (3) フィギュア競技の引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員とする。但し、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の職員が引率することができる。その際、申し込み時に委嘱状の写しを添付すること。コーチ（インストラクター）は、当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。
- (4) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、平成 16 年（2004 年）4 月 2 日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での同一競技出場は 1 回限りとする。大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の 2 年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後 6 ヶ月未満のものは同一競技への参加を認めない。外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限

りでない。

- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規程にしたがい大会参加を認める。
- イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

[大会参加資格の別途に定める規程]

- | |
|---|
| <p>1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。</p> <p>2 以下の条件を具備すること。</p> <p>(1) 大会参加を認める条件</p> <p>1 (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。</p> <p>2 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。</p> <p>3 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。</p> <p>4 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく運営が適切であること。</p> <p>(2) 大会参加に際し守るべき条件</p> <p>1 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。</p> <p>2 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。</p> <p>3 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。</p> |
|---|

9 参加制限

(1) 共通の参加制限

- ア 令和5年9月1日現在、所属の都道府県高体連に登録していること。また、日本スケート連盟フィギュアスケティングバッジテスト6級以上の資格取得選手であること。但し、女子選手については、下記「(3)」の参加制限を課す。
- イ 出場は、1校男女それぞれ選手3名、補欠1名以内とする。補欠との選手交代は、変更届を学校から実行委員会へ届け出た場合のみ認める。(令和6年1月10日(水)正午まで)
- ウ 申し込み選手のほか、監督は参加校ごと、男子クラス・女子クラスともにそれぞれ1名以内、コーチ(インストラクター)は参加選手1名に対し1名以内とする。監督・コーチ等に変更がある場合は、変更届を学校から実行委員会へ提出すること。

(2) 都道府県代表特別枠

- ア 男子または女子において6級以上の資格による出場者がいない都道府県については、都道府県特別枠として男女それぞれ1名の選手の出場を5級取得者に限り認める。
- イ 外国人留学生については、1校男女各1名とする。

(3) 女子選手の参加制限

- ア 参加人数は、最大108名以内とする。
- イ 参加人数の内訳は、下記の通りとする。
- 【(a)各都道府県枠+(b)日本スケート連盟推薦枠+(c)開催地都道府県枠+(d)比例配分枠】
- ウ (a)各都道府県に1名(6級以上取得者)の出場資格を与える。
- エ (b)日本スケート連盟推薦枠は、下記の通りとする。
- 前年度全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会12位以内
 - 前年度全日本フィギュア競技選手権大会12位以内

- 前年度全日本フィギュアジュニア競技選手権大会 12 位以内
 - 日本スケート連盟からの特別推薦者
- オ その他(c)(d)の出場枠に関しては、全国高体連スケート専門部が別途に定める算定基準に従い、配分する。

10 参加申込

(1) 申込期限

- ア 原本の送付については、令和5年12月26日(火)消印有効とする。
- イ データ送信については、令和5年12月14日(木)正午必着とする。

(2) 申込先

〒310-0911 茨城県水戸市見和1丁目356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内 茨城県高等学校体育連盟事務局
第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 茨城県実行委員会 宛
E-mail: ih73fs@gmail.com

(3) 申込方法

ア 【参加校】

各参加校は、大会ホームページ (https://ibaraki-koutairen.jp/figure_inter/) より申込用ファイル(様式4~6)をダウンロードして書類を作成し、各都道府県申込責任者に参加料を添えて提出すること。同時に、入力済みデータ及びプログラム掲載用写真を各参加校から実行委員会へ電子メールにて添付送信すること(申し込みフローチャート参照)。宿泊については、宿泊要項を参照し、申し込むこと。

- 様式4 学校別参加申込書
- 様式5-1 フィギュア競技出場申込書(男子)
- 様式5-2 フィギュア競技出場申込書(女子)
- 様式6 宿泊申込確認書
- 写真データ プログラム掲載用写真(個人写真、縦長)
※ファイル名「〇〇県〇〇高校〇〇 〇〇(選手名).jpg」

イ 【都道府県申込責任者】

各都道府県申込責任者は、各参加校の関係書類(様式4~6)を確認の上、大会ホームページより都道府県用ファイル(様式1~3)をダウンロードして書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。同時に入力済みデータを電子メールにて実行委員会へ添付送信すること。なお、都道府県選手団本部役員等の来会および宿泊を確認し、宿泊が必要な場合は宿泊要項を参照の上、申し込むこと。

- 様式1 申込送付書及び送金確認書
- 様式2 都道府県選手団申込一覧表
- 様式3 都道府県選手団本部役員等来会連絡票

ウ 【その他】

- ・ 要素表の提出について、各選手は「演技予定要素リスト」を令和6年1月5日(金)までにJSFマイページ(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)の競技会参加申込サイトからオンライン登録すること。
- ・ 他校の職員に引率を委嘱する学校は、当該学校長からの委嘱状の写しを添付すること。
- ・ 参加料、プログラム代金及び大会報告書の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書(コピー可)を必ず【様式1】の裏面に添付すること。
- ・ 送金の際には、実行委員会が指定した口座に電信扱いで振込むこと(振込手数料は申込者の負担とする)。また、送金依頼人名は都道府県がわかるようにすること。なお、実行委員会からは、各参加校の参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。
- ・ 申込書類の送付は、発送記録が残る方法(書留等)で行うこと。
- ・ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。
- ・ 個人情報の取り扱いについて、大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利

用するものとし、これ以外の目的に利用されることはありません。

11 参加料等

- (1) 参加料 1名 4,500円。但し、補欠選手の参加料は徴収しない。
- (2) プログラム 1部 1,500円。代金は参加申し込みと同時に納入すること。
- (3) 大会報告書 1部 2,000円（送料含む）で販売する。代金は参加申し込みと同時に納入すること。
- (4) 納入 申し込みと同時に行うこと。納入後は、参加の取り消しがあっても返金しない。
- (5) 振込先

振込先	(指定銀行) 常陽銀行 本店 (店番) 004 (普通預金口座) (口座番号) 3913135
名義人	<small>ダイナナジュウサンカイゼンコクコウトウガッコウ フィギュアスケートキョウギセンシュケンタイカイ イバラケンジッコウイインカイ カイチョウ アキヤマ カツミ</small> 第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 茨城県実行委員会 会長 秋山 克巳

12 表彰

- (1) 男女別に総合（学校対抗）6位までに賞状、優勝校には（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本スケート連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- (2) 男女別に個人8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

13 宿泊・弁当

- (1) 申し込みについては、必ず宿泊業者「東武トップツアーズ配宿センター」を経由すること。
- (2) 詳細については、「宿泊要項」による。（申込〆切は、令和5年12月21日（木））

14 医療救護

医療救護については、「医療救護要項」による。

15 輸送

計画輸送は行わない。各校で移動計画を立てること。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについては、「第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて」による。

17 式典および諸会議

名称	日時	会場
引率責任者 (監督)会議	実施しない。	※HPにて諸注意を掲載
開始式	令和6年1月17日（水）13時30分から	山新スイミングアリーナ
閉会式	令和6年1月21日（日）エキシビジョン終了後	山新スイミングアリーナ

18 滑走順抽選

滑走順は、技術代表、全国高体連スケート専門部及び茨城県実行委員会にて事前に抽選し、大会ホームページに掲載する。（令和6年1月10日（水）掲載予定）

19 連絡事項

- (1) 諸事情により選手または監督・コーチ等に変更あるいは不参加が生じた場合は、速やかにその旨を実行委員会に届け出ること。その場合、変更届・棄権届を大会ホームページよりダウンロードして書類を作成し、入力済みデータを電子メールにて添付送信すること。その後、原本を郵送または直接、実行委員会へ提出すること。但し、選手交代は、令和6年1月10日（水）正午までとする。
- (2) 各競技の練習時間は、実行委員会で割り当てる。
- (3) 引率責任者は、選手のショートプログラム競技で使用する音楽録音媒体を、受付に持参すること。

- (4) フィギュア競技で使用する音楽録音媒体は、CDとする。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること（シール等を媒体に貼付しないこと）。また、万々に備えて、予備のCDを必ず用意しておくこと。
- (5) 選手は、大会期間中フィギュアスケート競技選手権大会 茨城県実行委員会事務局 第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 茨城県実行委員会事務局 〒310-0911 茨城県水戸市見和1丁目356-2 茨城県水戸生涯学習センター分館内（茨城県高等学校体育連盟事務局）
- (6) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

20 実行委員会

令和5年度全国高等学校総合体育大会
 第73回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 茨城県実行委員会事務局
 〒310-0911 茨城県水戸市見和1丁目356-2 茨城県水戸生涯学習センター分館内
 （茨城県高等学校体育連盟事務局）
 TEL 029-300-5012（携帯：090-2140-5842） FAX 029-300-5013
 E-mail: ih73fs@gmail.com

21 各会場の所在地

区 分	会 場 名	所 在 地
開 始 式	山新スイミングアリーナ	〒312-0001 茨城県ひたちなか市佐和 2197-28
競 技	山新スイミングアリーナ	〒312-0001 茨城県ひたちなか市佐和 2197-28
閉 会 式	山新スイミングアリーナ	〒312-0001 茨城県ひたちなか市佐和 2197-28

22 大会ホームページ

https://ibaraki-koutairen.jp/figure_inter/